

経営比較分析表（平成28年度決算）

山形県鶴岡市 荘内病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透I未訓ガ	救 臨 災 地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
130,108	39,822	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

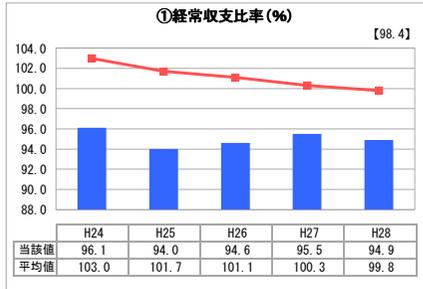
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
521	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	521
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
521	-	521

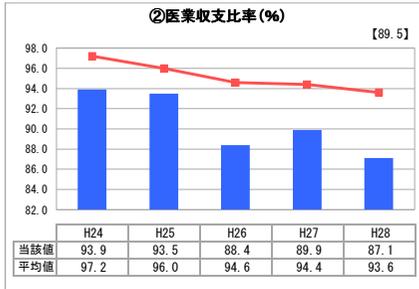
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

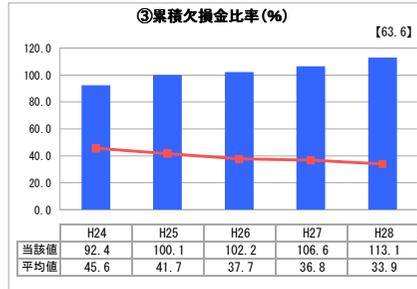
1. 経営の健全性・効率性



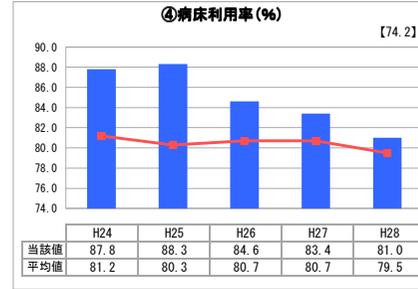
「経常損益」



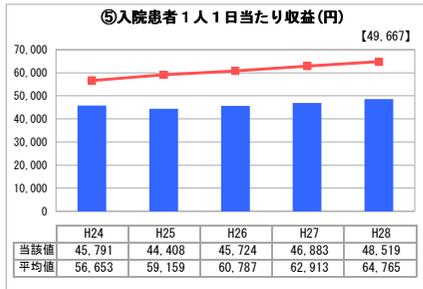
「医業損益」



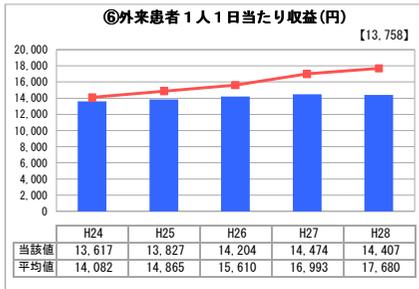
「累積欠損」



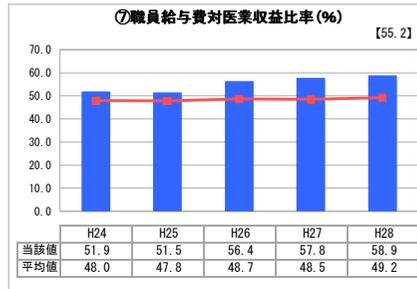
「施設の効率性」



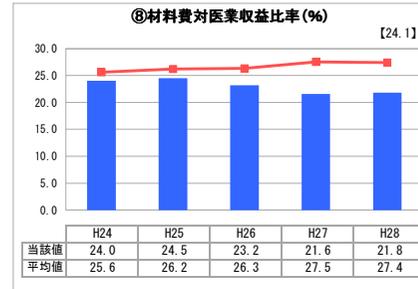
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

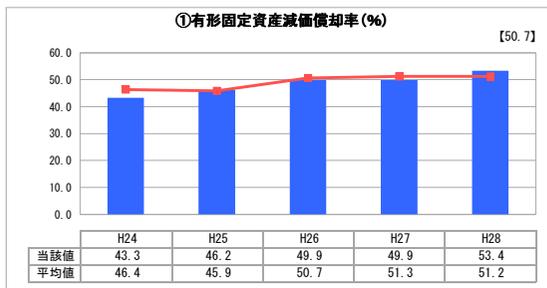


「費用の効率性①」

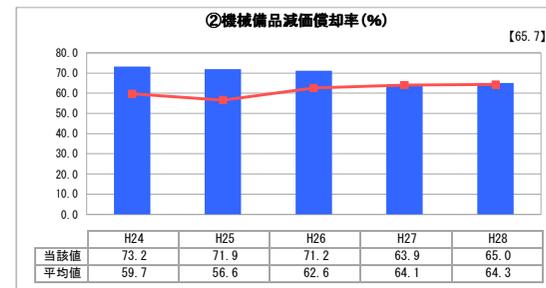


「費用の効率性②」

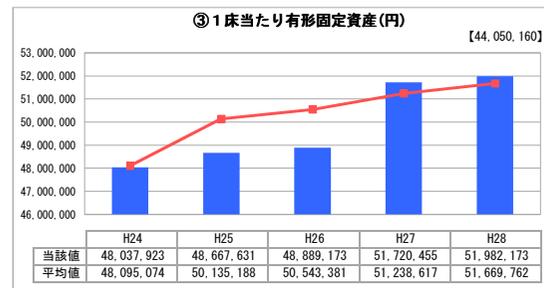
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

鶴岡市を中心とした庄内地方南域約16万人を対象とする急性期医療の基幹病院で、NICU6床、GCU6床を含む病床数521を有している。急性期医療の基幹病院としての役割を担う一方で、高度・急性期医療だけでなくとどまらず、救急・小児・周産期・災害などの不採算・特殊部門にかかわる医療を含め、地理的特性上、幅広く総合的な医療を提供していくことが地域住民から求められている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、前年度と比べ低くなっている。主に医業収支比率の減少が影響している。100%を前面っており、医業収支の改善と不採算部門における繰上り出し金の適正な水準について検討する。② 医業収支比率は、前年度と比べ低くなっている。入院、外来とも患者数の減により収益が減少したこと、減価償却費等の費用が増加したことによる。③ 累積欠損金比率については、退職給付引当金による影響とともに、医業収支比率が悪化していることにより増加している。④ 病床利用率については、入院患者の減少や地域かかりつけ医との機能分化・連携により、在院日数の短縮に努めたことにより前年度に比べ減少している。⑤ 入院患者一人、1日当たり収益は、在院日数の短縮、施設基準による加算の取得に努めた結果、増加傾向にあるが、類似団体よりも低い傾向にあるため収益の安定化に向け、引き続き施設基準の取得による加算による収益の増に努める必要がある。⑥ 外来患者一人、1日当たり収益は、前年度より減少しているものの増幅傾向となっている。⑦ 職員給与費対医業収益比率は、職員給与費の増に比べ、医業収益が患者の減により減収したため上昇している。⑧ 材料費対医業収益比率については、微増となっているが類似団体より低く今後とも効率的な運営に努める。

2. 老朽化の状況について

平成15年7月に新病院として開院し13年経過している。
① 有形固定資産減価償却率② 機械備品減価償却率
③ 1床あたり有形固定資産については、ほぼ類似団体の平均並みである。平成27年度は、医師会公舎の建設、統合医療情報システム更新、平成28年度は放射線治療装置の更新で増加している。新病院の設備関係（主に耐用年数15年）の修繕等が増加しており、今後、修繕状況を踏まえ、投資について効率的な計画を行う必要がある。

全体総括

経営収支比率が悪化していることを踏まえ、経営基盤の安定化とより一層の地域医療の充実に取り組むため、具体的な取り組み内容と目標数値を掲げた「中期経営計画」（29～32年度）を着実に推進していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成28年度決算）

山形県鶴岡市 湯田川温泉リハビリテーション病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者（代行制）	3	-	訓練	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
130,108	6,470	非該当	25:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

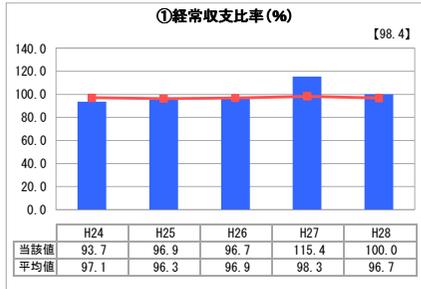
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	120	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	120
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	120	120

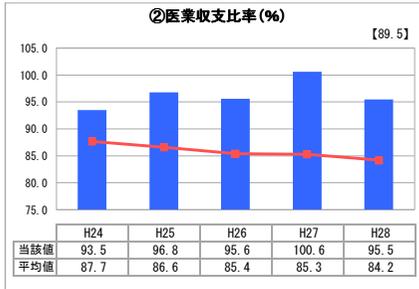
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

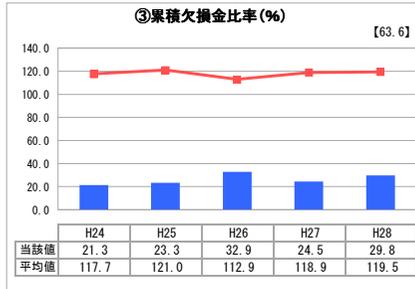
1. 経営の健全性・効率性



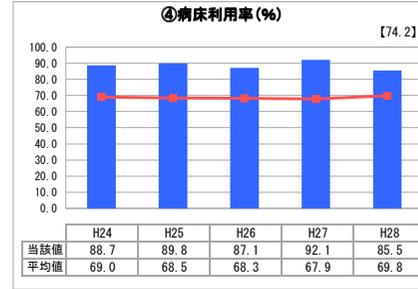
「経常損益」



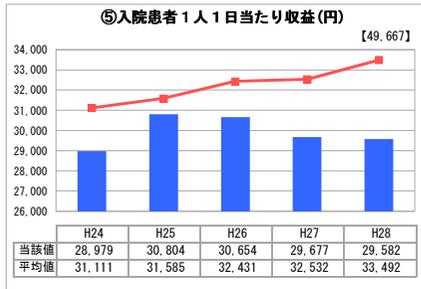
「医業損益」



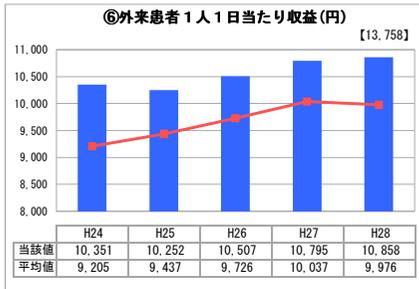
「累積欠損」



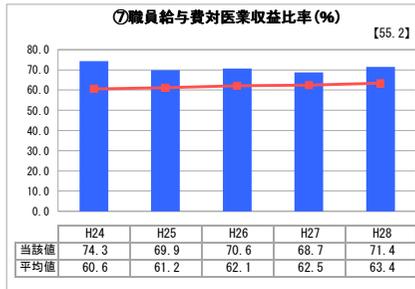
「施設の効率性」



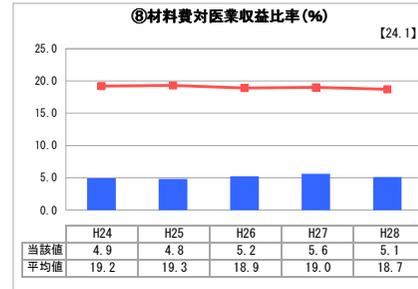
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

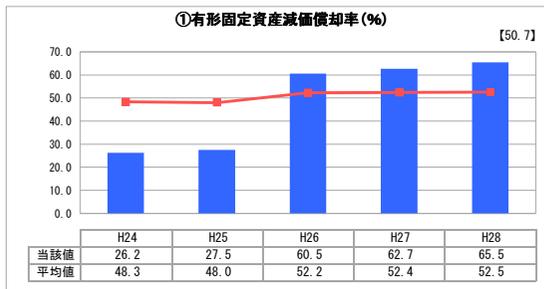


「費用の効率性①」

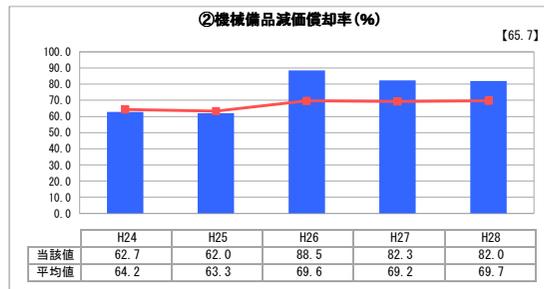


「費用の効率性②」

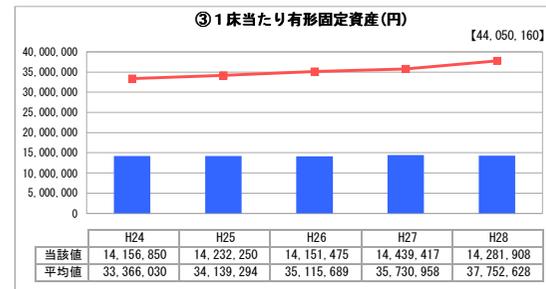
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

急性期治療を行う市立荘内病院と密接な連携を図り、急性期治療を終えた患者を早期から受け入れ、回復期におけるリハビリテーション医療を集中的に提供するとともに疾病の長期化、重度の障害に対する医療的処置が必要な患者のための慢性期医療を提供する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、指定管理により運営を行っており、一般会計より赤字補填分の繰入れをもらっているため、安定している。② 医業収支比率については、前年度に比べ低くなっているが、入院患者数が減少したことによる。③ 累積欠損金比率については、指定管理で、一般会計からの繰入があるため、低水準で推移している。④ 病床利用率については、市立荘内病院の後方支援病院として、高水準を維持している。⑤ 一人1日あたり入院収益については、新規加算の取得をするなど、増加に努める必要がある。⑥ の外来収益については、平均値より高い水準で推移している。⑦ リハビリ関連職員を増員しており、給与費増加傾向にある。⑧ 材料費については、リハビリ専門病院として機能しており、低水準にある。

2. 老朽化の状況について

老朽化の状況については、①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率とも、平均値より上回っており、③の1床当たり有形固定資産については低水準にあるが、建物は昭和52年に建設されたものであるため、老朽化している状況にある。施設については、今後15年後を目途とした保全計画を作成するため、平成26年に建物の劣化診断調査を実施しており、躯体部分については、設計基準強度を上回り、健全な状況が確認されたが、今後の病棟の施設管理の効率化と長寿命化を図るため、平成29年度から3カ年に渡り、大規模改修を実施している。

全体総括

指定管理により、経営状況は安定した状況を保っており、山形県地域医療構想では、今後回復期病床の不足も見込まれている。しかし、地域の少子高齢化、人口減少などの状況により、将来的な患者数の減少も念頭に病院運営にあたっていく必要が求められる。また、医療機器の更新や大規模改修実施により、企業債償還が増加し、一般会計の負担が増加することも予想されるため、より効率的な経営に努めていく必要がある。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。